

第2回フランジ付き六角ナット J I S 改正原案作成委員会議事録（案）

1. 日 時：平成25年10月18日（金） 14：00～16：30
2. 場 所：機械振興会館6階62号室
3. 出席者（順不同・敬称略）

氏 名	所 属	氏 名	所 属
川井 謙一	横浜国立大学（委員長）	来 住 健	（株）いすゞ自動車
山岸 章	（株）サトーラシ（幹事）	今西 崇之	（有）今西工業所
大橋 宣俊	元湘南工科大学	大磯 義和	日本ねじ研究協会
根本 俊雄	元東京大学	中林 賢司	日本ねじ研究協会
吉田 孝一	（一社）日本電機工業会		

4. 配付資料

資料10 前回議事録案

資料11 JIS B 1190 フランジ付き六角ナット改正第2次案

5. 議事

5.1 前回議事録の確認

- ・事務局が前回議事録案（資料10）を通読し、確認された。

5.2 JIS B 1190 改正第2次案（資料11）の審議

1) 序文

- ・下から2行目，“側線又は”を削除する。

2) 3 種類

- ・表1の欄中の“対応国際規格”に“(参考)”を横又は下に追加する。

3) 4 形状・寸法，製品仕様及び製品の呼び方の例

- ・タイトルを“形状・寸法，製品仕様及び製品の呼び方”に修正する。
- ・1行目の“製品の呼び方の例”を“製品の呼び方”に修正する。
- ・表2の欄中の“製品の呼び方”に“(例)”を追加する。

4) 図1

- ・前回配付した資料9の図に入れ替える。
- ・注b)～注d)及び注e)の文末に“とする。”を追加する。

5) 表3

- ・ねじの呼びM10の $d_a$ の最大値を“10.8”から“10.80”に修正する。
- ・注e)の“接触部分”を“接続部分”に修正する。

6) 表5

- ・表下の注記を欄外に出す。

7) 表 6

- ・“(M10×1)”の括弧をはずし，“M10×1.25”と上下を入れ替える。
- ・“(M12×1.5)”の括弧をはずす。
- ・括弧を外した理由を解説で触れる。
- ・注④，“接触部分”を“接続部分”に修正する。

8) 表 8

- ・注記を表の外に出す。

9) 附属書 A

- ・参考を“規定”に戻し，理由を解説で触れる。

10) 表 A.1

- ・細目ねじの“M10×1.25”と“M10×1”を左右入れ替える。

11) 附属書 JA

a) A.1 適用範囲

- ・当該附属書の将来の扱いを考慮して，注記を六角ボルト，六角ナットの体裁に合わせる。

b) JA.4 機械的性質

- ・表 JA.2 の強度区分 10T に対応するビッカース硬さ“354”を“353”に修正する。

c) JA.7 表面状態

- ・表 JA.10 の図を資料 9 の図のように描き直す。
- ・注記 4 の“次”を“表 JA.11”に修正する。
- ・表 JA.10 下段の“注記 1”，“注記 2”，“注記 3”及び“注記 4”をはずして，4つの段落の文章に書き直す。

d) JA.10 検査

- ・表 JA.7 の注記 3 の 2 行目，“注記 4”を“表 JA.11”に置き換える。
- ・表 JA.7 の“注記 1”，“注記 2”及び“注記 3”をはずして，3つの段落の文章に書き直す。
- ・17 頁，表 JA.10 ナット（続き）のタイトルを“表 JA.11 座面を大きくした場合のナット”に修正する。
- ・表 JA.11（旧表 JA.10）の下段に，欄を追加して“注記 記号は，表 JA.10 による。”を入れる。
- ・旧表 JA.11 を表 JA.12 に修正する。
- ・表 JA.12（旧表 JA.11）の“保証荷重値”を“保証荷重試験力”に修正する。
- ・旧表 JA.12 を表 JA.13 に修正する。
- ・表 JA.13（旧表 JA.12）の“保証荷重値”を“保証荷重試験力”に修正する。

e) 構成の見直し

- ・本文と図表が離れているため生じる規格運用上の不便さを考慮して，図表の番号を

箇条の順番にする，あるいは，箇条の順番など，製品規格としての構成を全体的に見直すことにした。

12) 附属書 JB

a) 引用規格

- ・ JIS B 1052 を JIS B 1052-2 に修正する。

b) 附属書 A

- ・ JIS と国際規格との差異の理由欄に参考とした理由を記載する。

6 その他

今後の進め方

- ・ 今回の審議結果を基に最終案を作成して，11月末を目途に書面審議を行う。
- ・ 書面審議の結果，対面審議が必要となった場合は，予定通りに平成25年12月12日（木）の14時から第3回委員会を開催する。

以上